

仕事もプライベートも充実！

安心の職場環境



仕事とプライベートで バランスの取れた働き方を

警務部 | 警務課 | 2010年採用 | 警部補

警察本部警務部警務課で警察職員の採用を担当しています。

現在、私には子供が3人いますが、特別休暇（出産補助休暇、育児参加休暇）を利用して全員の出産に立ち会っています。

第一子が生まれた当時、私は沖永良部警察署（離島）で勤務していましたが、出産予定日に合わせて1週間以上の休暇を取得し、妻が入院する鹿児島市内の病院で出産に立ち会いました。

無事に生まれた我が子を抱きかかえ、自分が父親になったことを実感した時の喜びや感動は今でも鮮明に覚えています。

所属は異なりますが第二子、第三子の際にも、同様に出産に立ち会いました。

鹿児島県警では、出産に関して上司と定期面談を行う制度があり、その内容に基づいて勤務や業務を調整してもらえるので、出産予定日等に合わせて計画的に休暇を取得できる環境が整っています。

また、第三子の出産をきっかけに育児休業も取得しました。

子供たちの面倒を見て、身をもって妻の大変さを知ることができましたし、幼稚園等への送り迎えの際に、家庭とは異なる子供の様子を垣間見ることができるなど、育児休業の取得は私にとって非常に有意義な経験になりました。

警察は大きな災害や事件事故が発生した時には、休日でも仕事をしなければいけない場合もあり、家族の理解や協力は欠かせません。

だからこそ、結婚や出産といったライフイベントごとの休暇制度や時差出勤等の家庭環境に合わせた勤務制度が充実していますし、実際にそういった制度を利用しやすい職場環境となっています。

私自身、上司から「仕事の代わりはいくらでも父親の代わりはいない」、「一流の仕事人は家庭も大事にする」と声を掛けられたことが、出産に伴う休暇や育児休業を取得する大きな後押しになりました。

家族と過ごす時間が充実しているからこそ、仕事にも意欲的に取り組むことができていると思います。



2015年、沖永良部警察署



2018年、警察本部生活環境課



2022年、鹿児島西警察署

鹿児島県警察のワークライフバランス

主な休暇制度

年次有給休暇

年間20日間の年次有給休暇、繰り越すと最大40日取得可

最大で
40日

ワークライフバランスを確保するため、以下のような場合に休暇取得を推進しています。



結婚記念日



誕生日



家族との
時間が
充実します！

子供の行事



夏休み



介護



ボランティア



永年勤続



弔祭



結婚

出産・育児を支える主な制度

産前・産後休暇

出産前の8週間と出産後の8週間、女性職員が取得できます。

産前
産後で
16週間

出産補助休暇

配偶者が出産する場合に、出産に係る入院の日から出産後2週間を経過するまでの期間のうち3日以内で男性職員が取得できます。

育児参加休暇

配偶者が出産する場合に、当該出産に係る子又は小学校に入学するまでの子の養育のために、出産予定日の8週間前から出産の日以後1年を経過するまでの期間のうち5日以内で男性職員が取得できます。

妊娠中に利用可能な制度

保健指導・健康診査/通勤混雑緩和/休息・補食/つわり休暇

妊婦検診等を受ける場合や妊娠によるつわりのため勤務することが困難な場合等に利用できます。



育児休暇

生後1年6月未満の子供への授乳や託児所への送迎等のための休暇が取得できます。

1日 **2** 回 **45** 分
or 1日 **1** 回 **90** 分

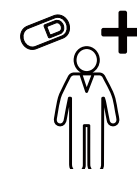
育児短時間勤務

子供が小学校に入学するまでの間、いくつかの勤務パターンから選択し、希望する日及び時間帯に勤務することができます。



看護休暇

配偶者、父母、子又は配偶者の父母を看護する場合に取得できます。



育児休業

子供が3歳になるまで取得可能。もちろん男性も取得できます。

3年

時差出勤制度 通常勤務 8:30~17:15

一人一人のライフスタイルを尊重し、多様な働き方を実現するために、6つのパターンから勤務時間を選択することが可能です。



早出A

7:00~15:45

（正午から午後1時まで休憩）



早出B

7:30~16:15

（正午から午後1時まで休憩）



早出C

8:00~16:45

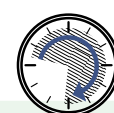
（正午から午後1時まで休憩）



遅出A

9:00~17:45

（正午から午後1時まで休憩）



遅出B

9:30~18:15

（正午から午後1時まで休憩）



遅出C

10:00~18:45

（正午から午後1時まで休憩）